

## 日本におけるツル類 (*Gruidae*) の文献リスト

松田 道生<sup>1</sup>

### はじめに

現在、日本ではツル類(ツル目ツル科)の鳥は7種類記録されている。それはタンチョ *Grus japonensis*, ソデグロツル *G. leucogeranus*, マナヅル *G. vipio*, クロツル *G. grus*, ナベヅル *G. monacha*, カナダヅル *G. canadensis*, アネハヅル *Anthropoides virgo* で、これは全世界中のツル類14種類(学者によっては15種類)のうちの半数にあたる。このうち、タンチョウは北海道東部の湿原で繁殖し、さらにその周辺で越冬している。また、鹿児島県出水市には、マナヅル、ナベヅルを合せて、何千羽もの大群で越冬している。山口県熊毛町においてもナベヅルが数十羽程度、定期的に越冬している。この他、小規模な越冬地は西日本にいくつかあることが報告されている。このように、日本はツル類にとって重要な生息地とすることができる。

しかし、島国でかつ国土の狭い日本においては、すでに一握りの生息数となってしまったトキやコウノトリの例を上げるまでもなく、大型の水禽類が生息することは難しい状態である。ツル類の生息地も同じく、いずれも人間社会からの圧迫を受けている。また、その一方ツル類を守るためあたたかい保護の手をさしのべる人々もいる。

これらの現状を鑑み、財団法人日本野鳥の会ではツル保護特別委員会を設け、日本のツル類の保護のために活動を始めた。このリストは、ツル保護特別委員会の活動の一助とするため日本のツル類の文献をリストアップしたものである。また、リストの発表によって研究の状況、生息数の変遷、迷鳥記録の集収、保護の理論やその活動などを把握し、今後のツル類保護のための研究や活動に生かされることを目的とする。

リストは、発表年代順とした。記載は、発表西暦年、著者名、題名、発表誌名あるいは出版社名、発表誌の場合は、巻数、号数、ページの順に述べてある。

リストに集録したものは、明治時代(1865年)より1985年6月までのものとし、日本国内におけるツル類の文献に限った。また、関連の深い旧領土の文献は集録した。なお、明治時代以前の文献については今回の作業の中で同時に集めており、いずれ機会を見て発表の場を得たい。

また、タイトルだけでは内容の不明なもの、内容の補足の必要なもの、英文については〔 〕内に説明を入れた。

さらに、文献はでき得る限り現物を見るように努めたが、不可能なものもあり、やむを得ず一部はいわゆる孫引きになっている。また、ここに収録した以外にもまだ文献が存在することは多分に予想できる。もし、お気づきの点や未掲載の文献をご存知であれば、ご一報いただければ幸いである。今後、ご指摘をいただき、より完全なリストとして充実させるために、今回発表したことを前もっておことわりしておく。

このリストは、(財)日本野鳥の会事務局のコンピューター (NEC・PC9801, 8'FD) に  
 インプットされており、著者名、種名、分野、発表誌、地名等により検索が可能である。  
 ご希望があれば、同会研究部までお申し出いただきたい。

また、リストの作成にあたっては、(財)日本野鳥の会本部の花輪伸一氏、森下英美子氏、  
 中村玲子氏、小林 恵氏、朋友で三重県在住の日本野鳥の会々員の樋口行雄氏のアドバイ  
 スとご協力を得ている。さらにツル保護特委事務局ボランティアの正岡桂子さんのご尽力に  
 よるところが大きく、誌上を借りて感謝の意を表したい。

#### ツル類文献リスト

- 1889 殖民雑誌4号 鶴の繁殖地〔転載・動物学雑誌 1 476-477〕
- 1890 野村彦太郎 鶴の棲息地 動物学雑誌 2 139
- 1917 内田清之助 本州及九州に於ける鶴の渡来地 動物学雑誌 341 口絵解説
- 1918 荒木彦助 種子島の鶴及び付近の二三鳥類〔タンチョウ以外のツルを観察〕 鳥 2  
6 17-19
- 1925 内田清之助 鶴の渡来地 理学界 67 [P不明]
- 1926 斉藤春治 北海道に棲息する丹頂に就いて 鳥 5 21 16-19
- 1928 葛 精一 釧路国に於ける丹頂に就いて 史蹟名勝天然記念物 3 4 300-322
- 1928 斉藤春治 釧路国鶴(丹頂)の棲息調査 鳥 5 25 463-468
- 1929 黒田長礼 我内地にて初めてのクロツルの標本〔当時の和名はクロツル〕 鳥 6  
27 127-130
- 1930 無記名 宮城県竹島に鶴の巣籠 狩猟界〔復刻〕 1 1 21
- 1931 葛 精一 北海道釧路国に於ける丹頂鶴繁殖地 天然記念物調査報告 動物之部第2号  
19-36 文部省
- 1931 川口孫治郎 阿久根に現はるる鶴 阿久根町郷土誌 阿久根教育委員会
- 1931 下村兼二 荒崎にて 野の鳥の生活 217-247 金星堂
- 1933 稲光恵助 瑞鳥・鶴に就いて 聯合猟友〔復刻〕 1 29
- 1934 川口孫治郎 鶴Gruidaeの生態(1) 野鳥 1 1 21-25
- 1934 川口孫治郎 鶴Gruidaeの生態(2) 野鳥 1 2 120-123
- 1935 佐々木信綱 万葉集の鶴の歌 野鳥 2 1 30-35
- 1935 鍋木外岐雄 天然記念物としての鶴 植物及動物 3 1 101-107
- 1935 黒田保吉 マナヅルの測定 鳥 9 41 84-86
- 1936 更科源蔵 釧路湿原の丹頂鶴 野鳥 3 334-341
- 1936 亀井紫雲 鶴 鳥と芸術 2-22 大雅堂
- 1937 北海道 新撰北海道史 通説-2
- 1937 葛 精一 丹頂と鴛鴦の繁殖 野鳥 4 5 315-351
- 1937 大阪朝日 鹿児島荒崎の鶴 野鳥 4 4 写真p296
- 1937 川口孫治郎 ツル 日本鳥類生態学資料 p431-448 [(川口1934)を集録化したもの]  
巢林書房
- 1937 黒田保吉 朝鮮忠清北道内に於ける“マナヅル”及びその他鶴類について 鳥 9 44  
307-312
- 1938 宇田川竜男 埼玉県下に渡来せる2種の珍鳥〔クロツル〕 鳥 10 46
- 1938 清棲幸保 ナベツルの群 野鳥 5 2 口絵写真
- 1939 小林桂助 北見にタンチャウ現る 野鳥 5 1 72
- 1939 堀内賛位 写真記録・日本鳥類狩猟法〔鶴類について〕 三省堂 66

- 1940 ヤマモト.タスケ 阿寒国立公園とアイヌ伝説 日本旅行協会 44-49
- 1940 中西悟堂 釧路川 野鳥 7 5 233-249
- 1940 飯尾登幾男 鹿児島に渡来する鶴とその保護 野鳥 7 11 6-23
- 1940 飯尾登幾男 マナヅル 野鳥 7 11 口絵写真
- 1941 桑田鉄也 ナベヅルの飛翔 野鳥 8 11 口絵写真
- 1942 更科源蔵 コタン生物記 北方叢書 No.3
- 1943 犬飼哲夫 北の風土と動物 北方文化出版社
- 1947 井上元則 野鳥の世界(北海道の鳥)
- 1948 山階芳麿 北海道紀行 鳥ごよみ 1-27 三興書林
- 1948 黒田長久 九州通信 野鳥 13 5 1-4
- 1950 飯尾登幾男 荒崎の鶴 野鳥 15 口絵写真
- 1950 津戸英守 都下立川にナベヅル群 野鳥 15 1 22
- 1951 関 公一 ナベヅル [写真] 野鳥 16 2 46
- 1954 周はじめ 北海道西別原野のタンチョウについて 鳥 13 64 10-13
- 1954 周はじめ タンチョウ 鳥 13 64 口絵写真
- 1955 下村兼史 荒崎の鳥 鳥 14 66
- 1956 斉藤春雄 タンチョウ 野鳥 21 2 口絵写真
- 1956 斉藤春雄 タンチョウを護る 野鳥 21 2 112-117
- 1956 丹葉和之 タンチョウの雛 野鳥 21 2 口絵
- 1956 猪川 琢 彰考書院 野鳥裸記 3-11
- 1958 黒田長礼 ツルの吸い物 旅と鳥(ゆうびん(1953.11)を再録) 185-190 法政大学出版局
- 1958 斉藤春雄 丹頂鶴の自然公園 野鳥 23 2 70-78
- 1959 永田洋平 タンチョウ 野鳥 24 1 口絵写真
- 1959 北海道教育委員会 北海道文化財シリーズ 1 天然記念物 1
- 1960 黒田長久 鹿児島荒崎にソテグロヅル 鳥 15 74 146
- 1960 高野伸二 荒崎のソテグロヅルとヘラサギ 野鳥 25 2 口絵写真
- 1960 犬飼哲夫 北海道の鳥類保護史 野鳥 25 2 16
- 1960 斉藤春雄 タンチョウの巣 野鳥 25 2 192
- 1961 塚本洋三 ソテグロヅルとクロヅル 野鳥 26 2 16-17
- 1961 村本義雄 石川県に飛来したソテグロヅルについて 鳥 16 78 36-38
- 1961 朝日新聞 182羽にふえる釧路のタンチョウ 鳥 16 77 45
- 1961 朝日新聞北海道支社報道部 きたぐにの動物たち 角川書店
- 1961 北九州大学鶴研究会 最近の荒崎付近の野鳥 九州野鳥 3
- 1961 黒田長久 八代のナベヅル随想 野鳥 26 2 22-23
- 1961 渡辺整編 丹頂写真集 北海道新聞社
- 1962 岡 薫高 多摩川にタンチョウツル? 日本鳥類保護連盟月報 7 7
- 1962 岡 薫高 西多摩郡多摩川にタンチョウ? 現わる 野鳥 27 3 155
- 1962 永田洋平 タンチョウ 野鳥 27 2 口絵
- 1962 無記名 ツルの渡来 [1961の出水] 日本野鳥保護連盟月報 2 7
- 1962 黒田長久 第4目 ツル類(GruesまたはAlectorides), ツル 動物系統分類学 10(上)脊椎動物(III) 149-157 中山書店
- 1962 古賀一夫 出水荒崎鶴渡来地探鳥 九州野鳥 4 7-9
- 1962 倉成栄吉 ナベヅル 九州野鳥 1 4 口絵

- 1962 石川野鳥の会 石川の野鳥〔ナベヅル,ソデグロヅル〕 105 北国書林
- 1963a 上田五郎 釧路の丹頂 野鳥 28 1 38
- 1963b 上田五郎 三十七年度の丹頂調査 野鳥 28 2 122
- 1963 無記名 ツルのニュース〔1962-3の釧路,八代,出水の個体数〕 私たちの自然 15  
3
- 1963 岡田孫市 出水の鶴 九州野鳥 3 10 17-18
- 1963 北川捷康 出水荒崎付近観察野鳥目録 九州野鳥 2 8 9-10
- 1963 倉成栄吉 北部九州に於けるツルの記録 九州野鳥 11
- 1964 高野伸二 荒崎にカナダヅル渡来す 野鳥 29 1 21
- 1964a 倉成栄吉 昨冬の荒崎のツルその他 野鳥 29 1 9
- 1964b 倉成栄吉 珍客 カナダヅルについて 九州野鳥 12 6
- 1964 福岡放送局 カナダヅル マナヅル 九州野鳥 12 口絵
- 1964 無記名 鳥ニュース〔1963の釧路,八代,出水の個体数〕 私たちの自然 27 3
- 1964 無記名 出水のツルも北へ帰る 私たちの自然 29 3
- 1964 阿寒中学校ツルクラブ 日本の鶴 阿寒中学校 82
- 1964 出水グループ 出水市のツルの記録 九州野鳥 12
- 1964 鴨川 誠 ツルの渡来コースを遂に確認 九州野鳥 4 4 15
- 1964 高野伸二 珍しいツルを見ました〔カナダヅル〕 私たちの自然 28 5
- 1964 城野茂門 出水荒崎探鳥記 九州野鳥 12 5-10
- 1965 無記名 アネハヅルが渡来〔鹿児島県徳之島〕 私たちの自然 47 7
- 1965 清樓幸保 日本鳥類大図鑑 講談社
- 1965 柳沢紀夫 丹頂鶴はもう大丈夫 私たちの自然 39 3
- 1965 吉田三郎 北国の野鳥〔タンチョウ〕 佐藤印刷KK 172
- 1965 出水グループ 珍鳥セイタカシギ来る.鶴の難 九州野鳥 16
- 1965 出水グループ 64-65冬,鶴の資料 九州野鳥 16
- 1965 阪本源太郎 65年正月 荒崎の鳥 日本野鳥の会大阪支部報 17
- 1965 三宅貞敏,平尾清隆 山口だより〔ナベヅル,マナヅル〕 九州野鳥 18 10-11
- 1965 平尾清隆 山口県にマナヅル二羽渡来 野鳥 30 3 47
- 1966 岩松健夫 丹頂鶴写真集 雪華社
- 1966 宇田川竜男 釧路原野の疎林にあそぶタンチョウ 林業技術 287 32
- 1966 高橋良治 ツルといっしょに 1-8 北海道タイムス連載
- 1966 中村好光,高木東海 根室市友知の温根沼に五月下旬タンチョウとヒナを発見 北海道新聞 6月25日付
- 1966 無記名 鳥ニュース〔1965の釧路と出水の個体数〕 私たちの自然 51 7
- 1966 原田俊昭 出水鶴便り 九州野鳥 21
- 1966 鳥賀陽貞子 九州ところどころ 野鳥 31 2 2-6
- 1966 山本洋子 出水探鳥会記 九州野鳥 21
- 1967 前野貞男 万葉動物歌論集 清和堂書店
- 1967 無記名 タンチョウの生息数 私たちの自然 64 15
- 1967 正富宏之,高橋良治 タンチョウの包卵交代 日本動物学会北海道支部第18回大会講演集抄録
- 1967 野鳥編集部 十勝平野にタンチョウの巣 野鳥 32 7 表紙3
- 1967 久行三郎 鶴〔山口県八代のツルについての文集〕 内外情報社
- 1968 佐藤直太郎 統佐藤直太郎郷土研究編論文集 釧路叢書 9 69-70

- 1968 井上元則 北海道の丹頂鶴百年史 札幌林友 142 28-48
- 1968 無記名 鳥だより〔荒崎にタンチョウ,北海道のタンチョウ〕 私たちの自然 75 8
- 1968 竹内 勲 孫サンのこと〔荒崎〕 野鳥 33 7 16-18
- 1969 葛 精一 四季の野鳥〔タンチョウ〕 P42 岩手日報社
- 1969 茨城県鳥獣センター 茨城県産鳥類の目録〔クロヅル〕 茨城県鳥獣センター 61
- 1969 手塚静雄 北九州のツル 野鳥 34 7 表3
- 1969 手塚静雄 佐賀へ “マナズル”の渡来の経過と今後の問題 私たちの自然 89 8-9
- 1969 無記名 九州のツルの渡来状況 私たちの自然 87 8
- 1969 無記名 北海道のタンチョウ 私たちの自然 87 8
- 1970 野鳥編集部 沖縄のソデグロヅルのその後 野鳥 35 11 29
- 1970 大城正雄 沖縄のソデグロヅル,オオチドリ,セイタカシギ渡来 野鳥 35 7 35
- 1970 吉井 正 タンチョウの脚引込め飛行 野鳥 35 8 33
- 1970 正富宏之 釧路にカナダヅルの幼鳥 野鳥 35 7 28
- 1970 林 武雄 タンチョウがきました〔三方五湖〕
- 1970 無記名 荒崎のツル,釧路のタンチョウヅル〔1969の出水と釧路の個体数〕 私たちの自然 99 6
- 1970 鳥類同好会 兵庫の鳥〔ナベヅル〕 鳥類同好会
- 1970 柳沢紀夫 荒崎,冬の鳥の記録 野鳥 35 10 42-54
- 1970 正富宏之 タンチョウの生活における諸問題 I 専大美唄農工短大年報1 37-45
- 1971 岩松健夫 赤いベレーの恋人〔タンチョウ〕 ポプラ社
- 1971 宮崎県 宮崎の野鳥〔マナズル〕 123 宮崎県
- 1971 正富宏之 タンチョウの生活における諸問題II 専大美唄農工短大年報2 93-111
- 1972 Msatomi,H Communal Wintering of a Sandhill Crane With Japanese Cranes in Hokkaido,Japan 〔日本の北海道でタンチョウとともに越冬したカナダヅル〕 Wils. Bull,83 3 250-260
- 1972 小宮輝之 阿寒町のクロヅル 野鳥 37 1 35
- 1972 無記名 ツル保護対策の理解進む 私たちの自然 130 13
- 1972 青森県 青森県の野鳥〔タンチョウ〕 29 青森県林務課
- 1972 井上元則 北国の自然の野鳥〔付 丹頂鶴の興亡史〕 農林出版
- 1972 中西悟堂 昨年度のタンチョウの死二十羽 野鳥 37 1 41
- 1972a アーチボルド・G.W. タンチョウ保護に関する報告書 野鳥 37 9 2
- 1972b Archibald, W.G. Conservation report on *Grus japonensis* 〔タンチョウの保護について〕 Typescript
- 1972 水野武雄 タンチョウの渡り鳥説について 野鳥 37 6 29
- 1972 Hayashida,T and Hashimoto,M Aves:Preliminary report of the survey on the Kushiro Marsh 〔釧路湿原における調査の予備報告〕 Sci.Rep.Kushiro Munic.Mus. 218 56-58
- 1972a 正富宏之 タンチョウの生活における諸問題III 専大美唄農工短大年報3 153-161
- 1972b 正富宏之 タンチョウの生活における諸問題IV 専大美唄農工短大年報4 139-152
- 1973 西尾市史編纂委員会 西尾市の野鳥〔アネハヅル〕 49 愛知県西尾市
- 1973 正富宏之 (講座)森林と自然保護-タンチョウ- 北方林業 290 139-142
- 1973 秋田県 あきたの野鳥〔タンチョウ,ナベヅル,ソデグロヅル〕 秋田県自然保護課
- 1973 大田真也 熊本県下に飛来したツルあれこれ 野鳥38 1 46

- 1973 賀屋育哉 八代の鶴 山口県八代小学校
- 1973 手塚静雄 佐賀県に渡来したツル〔ナベヅル, マナヅル〕 昨冬の記録 野鳥 38 3  
49
- 1973 沢田佳長 高知県にマナヅルが来ました 私たちの自然 134 6
- 1973 梶畑哲二 下関にもマナヅル飛来 私たちの自然 136 13
- 1973 北国新聞社編集局 のと,かが 四季の野生〔マナヅル, ソテグロヅル〕 北国出版社
- 1973 愛媛県 愛媛県の野鳥〔マナヅル, ナベヅル〕 愛媛県林政課
- 1973 和田豊洲 四国の野鳥〔マナヅル, ナベヅル〕 高知営林局
- 1973 野中秀夫 特別天然記念物つる 著者出版
- 1974 谷崎正雄 クロヅル渡来, 徳島県吉野川に 野鳥 39 5 43
- 1974 与那城義春, 石田昇三, 他 沖縄の野鳥. トンボ蝶〔クロヅル, マナヅル, ソテグロヅル〕 風  
土記社
- 1974 ヴォス・カレン タンチョウの養子縁組について〔付: 永島吉太郎 報告を訳して〕  
野鳥 39 7 20
- 1974 無記名 タンチョウ 今冬は233羽 私たちの自然 147 15
- 1974 Masatomi, H. & Kitagawa, T. Bionomics and sociology of Tanchoor the Japanese  
Crane, *Grus japonensis*.〔タンチョウの生態と社会学〕 J, Fac, Sci. Hokkaido univ, Ser  
VI. zool. 19 3, 4. 777-802, 834-873
- 1974 日本鳥類保護連盟岡山県支部 岡山県の野鳥〔タンチョウ, ナベヅル, マナヅル〕 岡山県  
自然保護課
- 1974 アーチホールド, G. W. ツルの人工増殖及び飼育(1)-(3) 野鳥 39 8, 9, 10, 20, 20, 24
- 1974 東京都 東京都産鳥類目録〔ナベヅル, マナヅル, アネハヅル〕 東京都自然保護課
- 1974 無記名 マナヅルの中継地〔韓国, 仁川〕 私たちの自然 150 15
- 1974 谷口育英 阿蘇のマナヅル, 熊本市の越冬ツバメ 野鳥 39 2 55
- 1974 金 憲圭 マナヅルの大群韓国に渡る 野鳥 39 3 26
- 1974 村本義雄 能登半島にマナヅルの幼鳥飛来 野鳥 39 4 44
- 1974 無記名 出水のツルは3245羽 私たちの自然 148 15
- 1974a 正富宏之 タンチョウの生活における諸問題V 専大北短大紀要5 1-16
- 1974b 正富宏之 タンチョウの生活における諸問題VI 専大北短大紀要6 4-12
- 1975 友利哲夫, 新垣秀雄 沖縄の自然・野鳥〔クロヅル, ナベヅル, ソテグロヅル〕 新星図書
- 1975 根室自然保護教育研究会 根室の自然, 49年集録 タンチョウ特集 126-171
- 1975 井上雅子 根室地方のタンチョウ 釧路市郷土博物館館報 234 3-11
- 1975 横田義雄 宮城県伊豆沼にシジュウカラガンとタンチョウ 野鳥 40 1 41
- 1975 高橋伴朗 これはびっくりタンチョウが〔宮城県伊豆沼〕 野鳥 40 2 6
- 1975 中村 悟 他 北海道における野生タンチョウの死亡原因調査 1 動物園水族館雑誌  
16 4 99-102
- 1975 林田恒夫 釧路湿原に於けるタンチョウの生息について 釧路市郷土博物館 釧路湿原  
総合調査報告書 291-297
- 1975 北海道教育委員会 特別天然記念物タンチョウ特別調査報告 北海道文化財シリーズ  
第15集
- 1975 湯浅恭一・編 ふくしまの野鳥〔タンチョウ, ナベヅル〕 181 福島中央テレビ
- 1975 山階鳥類研究所 この鳥を守ろう〔タンチョウ, ナベヅル, マナヅル, ソテグロヅル〕 127-  
139 露会館

- 1975 平凡社 「鶴」 季刊アニマ 1 平凡社
- 1975 松田雄一 ヒマラヤを越える渡り鳥 第4回ネパール研究学会 日本ネパール協会
- 1975 松田道生 千葉県の鳥類〔ナベヅル〕 千葉県の生物 128 日本生物教育会
- 1975 千葉県 千葉県鳥類目録〔ナベヅル〕 48 千葉県自然保護課
- 1975 河村宣樹 山口県八代におけるナベヅルの研究—ねぐらの分布と利用— 山階鳥類研究所報告 7 5 550-561
- 1975 正富宏之 タンチョウの生活における諸問題Ⅶ 専大北短大紀要7 1-14
- 1976 中田千佳夫, 村馬 隆, 谷口育英 アネハヅルが各地に迷行〔北海道音別, 青森県五所川原, 熊本県菊地〕 野鳥 41 5 41
- 1976 川口爽郎 アネハヅルの続報〔青森県五所川原〕 野鳥 41 8 40
- 1976 福本幸夫 中国地方にアネハヅル迷行 野鳥 41 10 51
- 1976 川南 勉 クロヅルの長期滞留〔香川県坂出〕 野鳥 41 5 42
- 1976 佐藤春雄 佐渡にタンチョウ 野鳥 41 5 44
- 1976 松元真輔 オシロワシの思い出—タンチョウの飛来に寄せて—〔京都府園部〕 野鳥 41 6 21
- 1976 日本野鳥の会山口県支部 山口県の野鳥〔クロヅル, ナベヅル, マナヅル, タンチョウ〕 日本野鳥の会山口県支部
- 1976 無記名 タンチョウの数は194羽 私たちの自然 170 15
- 1976 横田義雄 腰黒タンチョウ〔宮城県伊豆沼 他〕 私たちの自然 177 14-15
- 1976 福田蓼汀 丹頂 野鳥 41 6 10
- 1976 叢書編さん事務局 タンチョウの釧路 釧路市
- 1976 林田恒夫 タンチョウ〔写真集+文〕 平凡社
- 1976 アーチホールド, G.W. ツルのクリスマス 野鳥 41 4 23
- 1976 忽那 要 伊予路に珍しいナベヅルの群れ 野鳥 41 5 44
- 1976 沢田佳長 珍客の飛来報告・ナベヅル〔高知県中村市〕 野鳥 41 10 51
- 1976 吉倉 真 横島干拓地にナベヅル 熊本野鳥の会会報 55 6
- 1976a 松田道生 おしこめられたツルたち(出水のツルⅠ) 私たちの自然 171 13
- 1976b 松田道生 野性の翼を守るために(出水のツルⅡ) 私たちの自然 173 16-17
- 1976 上原恵雲 荒崎のツル 野鳥 41 4 10
- 1976 篠原芳雄 マナヅルが一羽〔愛媛県東予市他〕 私たちの自然 172 7
- 1976 吉倉 真 阿蘇谷に冬の使者マナヅル 熊本野鳥の会会報 56 3
- 1976 正富宏之 タンチョウの生活における諸問題Ⅷ 専大北短大紀要8 1-13
- 1977 西出 隆 秋田の野鳥〔アネハヅル〕 167 んだんだん文庫
- 1977 松本直幸 札幌市郊外にアネハヅル 野鳥 42 5 45
- 1977 井上元則 原色・北海道の野鳥〔クロヅル, タンチョウ〕 72-73 北海タイムス社
- 1977 正富宏之 タンチョウ 北海道の自然 6 257 北海道新聞社
- 1977 山形則男 短報 ナベヅル5〔愛知県渥美町〕 野鳥 42 8 41
- 1977 沢田佳長 ナベヅル〔高知県中村市〕 私たちの自然 183 7
- 1977 二村一男 鶴の里から〔ナベヅル, 山口県八代〕 私たちの自然 192 5
- 1977 園部浩一郎 有害鳥獣問題委員会が鹿児島県で実施調査 野鳥 42 2 54
- 1977 叶内拓也, 森岡照明 鹿児島県荒崎周辺地区の鳥—観察記録と有害鳥獣問題の現状報告— 野鳥 42 12 34-42
- 1977 文化庁 特別天然記念物 鹿児島県のツルおよびその渡来地

- 1977 富山県 越中の鳥〔マナヅル〕 富山県  
 1977 吉倉 真 阿蘇谷にマナヅル 熊本野鳥の会会報 60 6  
 1977 二村一男 短報 マナヅル4〔山口県徳地町〕 野鳥 42 8 41  
 1977 弘中数夫 マナヅル1〔山口県八代〕 野鳥 42 8 41  
 1977 浅見明博 マナヅル 野鳥 42 2 口絵  
 1977 富山県 とやまの野生鳥獣〔マナヅル〕 71 富山県  
 1977 正富宏之 タンチョウの生活における諸問題IX 専大北短大紀要9・10 1-13  
 1978 宮城県支部 短報アネハヅル1〔宮城県大船渡市,カゴヌケ?〕 野鳥43 9 47  
 1978a 大石 斉 珍しいお客さまクロヅル〔静岡県弁財天川河口〕 私たちの自然 195 3  
 1978b 大石 斉 短報 クロヅル1〔静岡県弁財天,高松川河口〕 野鳥43 3 44  
 1978 小杉昭光 鳥類〔クロヅル,タンチョウ,マナヅル〕 埼玉県教育委員会 63 埼玉県動物誌  
 1978 福岡県の自然を守る会 福岡県の自然.第4集 福岡県の野鳥〔クロヅル,ナベヅル〕  
 福岡県の自然を守る会  
 1978 小林 実 阿波の野鳥〔クロヅル,ナベヅル,タンチョウ〕 59 106 236 南海ブックス  
 1978 片田 大 短報 ソデグロヅル1〔北海道塘路湖〕 野鳥 43 3 44  
 1978 竹田津実,小川 巖 北海道の鳥〔タンチョウ〕 110 北大図書刊行会  
 1978 葛 精一・監修 岩手の鳥獣〔タンチョウ〕 131 岩手県自然保護課  
 1978 青森県 青森県の鳥獣〔タンチョウ,アネハヅル〕 40 青森県  
 1978 北海道新聞社編 北海道の野鳥〔タンチョウ,アネハヅル,クロヅル,ソデグロヅル〕 166-169 北海道新聞社  
 1978 山口正信 アーチボルト氏から寄せられた韓国鳥信〔非武装地帯のタンチョウ他〕  
 野鳥 43 5 45  
 1978 佐賀県 佐賀の野鳥〔ナベヅル,マナヅル〕 58 佐賀県環境整備課  
 1978 鹿児島県教育委員会 特別天然記念物鹿児島県のツルおよびその渡来地の実態調査,天然記念物緊急調査報告書 鹿児島県教育委員会  
 1978 熊本県 熊本県の野鳥〔ナベヅル,マナヅル,アネハヅル〕 16, 162 熊本県自然保護課  
 1978 吉倉 真 不知火町にマナヅル1羽 熊本県野鳥の会会報 63 11-12  
 1978 静岡支部 短報・マナヅル1 野鳥 43 9 46  
 1978 正富宏之 タンチョウの生活における諸問題X 専大北短大紀要11 5-10  
 1979 福岡県 福岡県の野鳥〔クロヅル,ナベヅル〕 40-41福岡県緑化推進課  
 1979 卯木達朗 群馬の鳥を探る〔タンチョウ〕 59 みやま文庫  
 1979 溝部泰子 北海道・野鳥歳時記 藤巻裕蔵編〔タンチョウ〕 80 日本放送出版協会  
 1979 俵 浩三 北海道の自然保護〔第2部第2章,4.タンチョウ〕 132-144 北海道大学図書刊行会  
 1979 後藤優美 ICF本部訪問記 野鳥 44 2 38  
 1979 増田吉男 ジョージ・アーチボルト氏のこと 野鳥 44 2 42  
 1979 西出 隆 短報・マナヅル1〔秋田県八郎潟〕 野鳥44 5 42  
 1979 佐藤昌彦 短報・マナヅル1〔静岡県清水市〕 野鳥 44 9 46  
 1979 京都府 京都の野鳥〔タンチョウ竹野郡,船井郡,アネハヅル宇治市〕 33 京都府林務課

- 1979 正富宏之 タンチョウの生活における諸問題X I 専大北短大紀要12 5-11
- 1979 正富宏之 タンチョウの生態とその保護 遺伝 33 65-70
- 1980 広島県 広島県の野鳥〔アネハヅル〕 34 広島県林務部自然保護課
- 1980 羽田恭子 短報.カナダヅル1〔北海道ウトナイ湖〕 野鳥 45 2 39
- 1980 財間広光 やって来たソテグロヅル〔島根県大田市〕 私たちの自然 225 14
- 1980 無記名 ソテグロヅル・その後〔島根県大田市〕 私たちの自然 225 31
- 1980 柴田敏隆 ろんせつ・捕えてもよいけどこの先どうするのですか〔ソテグロヅルの捕獲について〕 私たちの自然 226 15
- 1980 鳥取県 鳥取県の野鳥〔クロヅル,タンチョウ,ナベヅル,マナヅル〕 20 鳥取県造林課
- 1980 長崎県野鳥の会 長崎県の野鳥〔クロヅル,タンチョウ,ナベヅル,マナヅル〕 11 長崎県野鳥の会
- 1980 三島文雄 短報・ソテグロヅル1〔松江市,出雲市,大田市,下関市〕 野鳥 45 9 44
- 1980 松田道生 ろんせつ はきだめられた鶴〔出水のツルの問題〕 私たちの自然 220 18
- 1980 高知県 土佐の野鳥〔ナベヅル,マナヅル〕 高知県
- 1980 正富宏之 タンチョウの生活における諸問題X II 専大北短大紀要13 1-7
- 1981 遠藤一俊,三耶子 野鳥情報・クロヅル1〔北海道トウフツ湖〕 野鳥46 7 31
- 1981 谷崎正雄 徳島・野鳥の記録〔クロヅル,タンチョウ,ナベヅル〕 46 著者出版
- 1981 日本野鳥の会栃木県支部 栃木県産鳥類目録〔タンチョウ,ナベヅルまたはマナヅル〕  
日本野鳥の会栃木県支部
- 1981 北海道教育委員会 特別天然記念物タンチョウ特別調査報告書〔生態調査から病理解剖まで〕 道教委
- 1981 近藤健一郎 佐渡の野鳥〔クロヅル,タンチョウ〕 30-31 著者出版
- 1981 本間義治・監修 新潟県鳥獣図鑑〔タンチョウ,ナベヅル,マナヅル〕 293 新潟日報事業社
- 1981 本間清利 御鷹場〔ツルは,p29,p223鶴殺生に関する判例の成立〕 埼玉新聞社
- 1981 宗近 功,渡辺誠喜 ツル卵白の電気泳動的ならびに血清学的解析 鳥 30 1 17-32
- 1981a 沢田佳長 野鳥情報〔ナベヅル,〕 野鳥 46 3 27
- 1981b 沢田佳長 ナベヅルの越冬〔高知県中村市〕 私たちの自然 231 5
- 1981 西出 隆 野鳥情報〔ナベヅル4 成2,幼2 秋田県若美町〕 野鳥 46 6 28
- 1981 西出 隆,小林吟樹 雪のナベヅル〔秋田県若美町〕 野鳥 46 10 4
- 1981 飯嶋良朗 野鳥情報〔ナベヅル,北海道大樹町〕 野鳥 46 8 28
- 1981 和歌山県 和歌山県の野鳥〔ナベヅル〕 62 和歌山県自然保護課
- 1981 国松俊英 やじさんのプロミナーかついで・荒崎田んぼのツル 私たちの自然 233 16
- 1981 無記名 出水のツル渡来地を守れ 野鳥 46 2 11
- 1981 吉尾直善 荒崎のツル 野鳥 46 2 2-3
- 1981 佐藤春雄,他,佐渡支部 野鳥情報〔マナヅル佐渡ヶ島〕 野鳥 46 7 31
- 1981 忍田 中 伊豆・天城の野鳥〔マナヅル〕 66 東海自動車K.K
- 1981a ICF-J サロルンカムイ 1 ICF-J
- 1981b ICF-J サロルンカムイ 2 ICF-J
- 1981c ICF-J サロルンカムイ 3 ICF-J
- 1981d ICF-J サロルンカムイ 4 ICF-J

- 1982a 本正修一 野鳥情報-アネハヅル成1,亜成1,山口県周東町- 野鳥 47 10 32  
 1982b 本正修一 野鳥情報 [カナダヅル2,山口県阿須町] 野鳥 47 10 32  
 1982 編集部 ヒマラヤを越えるソテグロヅル 野鳥 47 2 25  
 1982 30周年記念事業実行委員会 タンチョウのその保護に尽した人々-特別天然記念物タン  
 チョウ保護30年の歩み-  
 1982 スポーツニッポン ニュースダイジェスト タンチョウ,最高の295羽 野鳥 47 4  
 25  
 1982 ブリトン・ドロシー The Japanese Crane Birds of Happiness 講談社インターナシ  
 オナル  
 1982 小柳慶吾 タンチョウはいま… ふれあい 3 釧路市動物園  
 1982 正富宏之ほか 1982年繁殖期におけるタンチョウの分布 専大北短大紀要15 163-173  
 1982 中村一正 日本4ヶ所之鶴 「日本4ヶ所之鶴」刊行会  
 1982 無記名 ツルのサンクチュアリを作ろう 署名運動にご協力を! 野鳥 47 3 10  
 1982 石原 保 四国の野鳥記 [クロヅル,タンチョウ,ナベヅル,マナヅル] 68 築地書館  
 1982 内田 映 鳥根県の鳥類 [タンチョウ,ナベヅル,マナヅル,ソテグロヅル,アネハヅル]  
 鳥根野鳥の会  
 1982 沢田佳長 日本画の世界 [ナベヅル,高知県中村市] 私たちの自然 242 4  
 1982 小笠原崋 ほか [短報] 秋田県に渡来したナベヅルの観察記録 山階鳥類研究所報  
 告 14 1 68-71  
 1982 大分県 大分県の野鳥 [ナベヅル] 149 大分県緑化推進課  
 1982a 松田道生 ツルの楽園を守るために [出水のツル] 月刊新自由クラブ 65 94-101  
 1982b 松田道生 出水のツルを守るために 私たちの自然 245 18  
 1982 無記名 「出水のツル募金」にご協力下さい 野鳥 47 3 11  
 1982 無記名 「出水のツル募金」「署名」へたくさんのご協力本当にありがとうございました  
 野鳥 42 6 47  
 1982 市田則孝 SOS荒崎のツル 野鳥 47 2 28  
 1982 日本野鳥の会 出水のツル資料集 [新聞切りぬきを印刷]  
 1982 岡山速俊 北九州市鳥類目録 [ナベヅル,マナヅル,アネハヅル] 5 著者出版  
 1982 滋賀県 滋賀県の野鳥 [ツル和歌 田鶴来の由来] 33,37 滋賀県  
 1982a ICF-J サロルンカムイ 5 ICF-J  
 1982b ICF-J サロルンカムイ 6 ICF-J  
 1982c ICF-J サロルンカムイ 7 ICF-J  
 1982d ICF-J サロルンカムイ 8 ICF-J  
 1983 黒田隆司 野鳥情報 [アネハヅル,成1,和歌山県日高町] 野鳥48 7 32  
 1983 池原貞雄・監修 写真集・沖縄の野鳥 [クロヅル,ナベヅル,ソテグロヅル] 56 琉球新  
 報社  
 1983 又野末春 吉尾直善 ソテグロヅル1 [出水市荒崎] 野鳥 48 5 34  
 1983a 百瀬邦和 中村玲子 タンチョウ保護に関するレポート(コピー)  
 1983b 百瀬邦和 中村玲子 北海道のタンチョウ保護の現状 Strix 3 121-130  
 1983 飯嶋良朗 北海道十勝地方南部の鳥類 1 迷鳥の観察記録(1970-1981)[クロヅル,ナベ  
 ヅル,カナダヅル] 山階鳥類研究所報告 15 175-176  
 1983 飯嶋良朗 山田政一 北海道十勝南部におけるタンチョウの生息状況 鳥 32 4  
 129-138

- 1983 編集部 タンチョウ保護基金スタート 野鳥 48 2 11
- 1983 林田 恒夫 The Japanese Crane, Bird of Happiness [阿寒のタンチョウの写真]  
National Geographic 164 4 542-549
- 1983 日本野鳥の会埼玉県支部 埼玉四季の鳥 [リストに タンチョウ, マナヅル, クロヅル]  
埼玉新聞社
- 1983 無記名 ツル類の研究の訪中団, 成果を上げて帰国 野鳥 48 7 11
- 1983 編集部 ツル王国日本 野鳥 48 1 2-3
- 1983 無記名 国際ツルシンポジウムに出席 野鳥 48 1 22
- 1983 高野 昭 おめでたい鶴の話 鶴はなぜ瑞鳥なのか 野鳥 48 1 19-21
- 1983 高野伸二 中国のツル二題 野鳥 47 1 13
- 1983 編集部 まだあるツルの話 四題 野鳥 48 1 22
- 1983a 正富宏之 ツル類の行動パターン 動物行動の意味 149-196 専修大学出版社
- 1983b 正富宏之 ツルの生物学 野鳥 48 1 14-18
- 1983 国松俊英 やじさんのプロミナーかついで・野鶴のいる山里へ [八代のナベツル]  
私たちの自然 256 14-16
- 1983 愛知県 愛知の野鳥 [ナベツル, マナヅル] 愛知県自然保護課 246,
- 1983 宗近 功, 中山 孝 マナヅルの人工受精による繁殖例 山階鳥研報 15 1 87-95
- 1983 正富宏之, 阿部誠典, 百瀬邦和 ほか 1983年繁殖期におけるタンチョウの分布 専大北短  
紀要16 200-212
- 1983a ICF-J サロルンカムイ 9 ICF-J
- 1983b ICF-J サロルンカムイ 10 ICF-J
- 1983c ICF-J サロルンカムイ 11 ICF-J
- 1983d ICF-J サロルンカムイ 12 ICF-J
- 1984 秋山 勉 野鳥情報 [アネハヅル成1, 松山市重信川河口] 野鳥 49 1 36
- 1984 WWF・US ニュースダイジェスト・ソテグロヅル, 渡り途中でさまざまな危機に遭遇  
野鳥 49 4 31
- 1984 中国通信 ニュースダイジェスト・ハンヨウ湖の越冬ソテグロヅル400羽, チベット高原に  
オグロヅル多数 野鳥 49 3 37
- 1984 無記名 タンチョウの空中調査行われる 野鳥 49 7 13
- 1984 正富正之 タンチョウツルのおやこ 小学館
- 1984 岩合徳光 中国・日本のタンチョウ くもん出版刊 [野鳥 49 3 43に書評]
- 1984 岩松健夫 丹頂の四季 北の作家シリーズ 1 須田製版企画出版
- 1984 無記名 タンチョウ保護にご協力を 野鳥 49 2 12
- 1984 二村一男 タンチョウ 私たちの自然 275 7
- 1984 中村玲子 ツルの足環 野鳥 49 9 21
- 1984 杉沢拓男 タンチョウ読本 道東アウトドアーズ
- 1984 園部浩一郎 日ソ鳥類保護シンポジウムに参加して—ソ連のタンチョウは157羽— 野  
鳥 49 11 32
- 1984 無記名 ツル保護特別委員会を設立 野鳥 49 7 9
- 1984 無記名 中国からツルの研究者来日 野鳥 49 6 12
- 1984 無記名 ツルを守れ 野鳥 49 5 9
- 1984 白井俊二 ツルのねぐらを守って [山口県八代] 野鳥 49 10 17
- 1984 大迫義人 いつもと違って見えるツル [鹿児島県出水] 野鳥 49 12 25
- 1984 西田 智 冬, ツルはどんなベットの選ぶか [山口県八代] 野鳥 49 10 20

- 1984 古池一成 会員コーナー・八代のツル探訪記 野鳥 49 2 44  
 1984 鈴木 孜 風雲を衝いて〔ナベヅル山口県八代〕 野鳥 49 1 4  
 1984 朝日新聞 出水のツルは朝鮮半島経由で飛来 野鳥 49 3 37  
 1984 赤尾 譲 ニュースダイジェスト 出水のツル 〔写真集〕 岩崎書店  
 1984 市田則孝 世界の中の出水 野鳥 49 1 32-33  
 1984 柳瀬康夫 迷ったのかな〔マナヅル1983.6.10 北海道空知〕 私たちの自然 274 5  
 1984 神戸新聞出版センター編 兵庫の野鳥 〔クロヅル,ナベヅル,マナヅル〕 184 神戸新聞出版センター  
 1984 正富宏之 タンチョウの生活における諸問題XIII 専大北短大紀要 17 8-87  
 1984a ICF-J サロルンカムイ 13 ICF-J  
 1984b ICF-J サロルンカムイ 14 ICF-J  
 1984c ICF-J サロルンカムイ 15 ICF-J  
 1984d ICF-J サロルンカムイ 16 ICF-J  
 1985 久保田義久 タンチョウ撮影顛末記 特集・ツルを守る 野鳥 50 1 20  
 1985 橋本正雄 タンチョウ保護の歴史と現状 特集・ツルを守る 野鳥 50 1 19  
 1985 無記名 ツル保護特別委員会いよいよスタート 野鳥50 1 12  
 1985 無記名 ツル保護特別委員会設立総会開かる 野鳥 50 3 12  
 1985 小原秀雄 浦本昌紀 中村玲子 対談・人とツルとの共存の道を探る.特集 ツルを守る 野鳥 50 1 14-18  
 1985 無記名 ツルを救って! 野鳥 50 6 11  
 1985 無記名 絶滅の危機に瀕するツル類個体群とその推定個体数. 特集・ツルを守る 野鳥 50 1 18  
 1985 尾崎清明 出水のツルのバンディング. 特集・ツルを守る 野鳥 50 1 23  
 1985 溝口文男 出水のツルたちの抱える問題.特集・ツルを守る 野鳥 50 1 21-22  
 1985 野生生物管理研究会 ツル類の保護管理対策に関する基礎的研究〔出水のツルについて1974に調査〕 (財)世界野生生物基金日本委員会  
 1985 ICF-J サロルンカムイ 17 ICF-J  
 1985 (財)世界野性物基金日本委員会 特集・世界のつるを救え!〔日本のツル,ソテクロヅル,オクロヅル,ICFなど〕野性生物 15 6 1-56

THE LIST OF LITERATURE ON CRANES IN JAPAN  
 MICHIO MAZDA

This list was published as a part of activities of The Special Committee for Crane Conservation, Wild Bird Society of Japan. It Covers most of all the literature on cranes published from 1865 on. Literature is arranged in order of date. The list is inputed in the computer system in order to make it easy for users to look up the literature by the species, the authors name, the fields it concerns, and the form of publication.

1-3-4-502,Komagome, Toshima-ku, Tokyo 170.